

各常任委員会における審査の状況

文教民生常任委員会

13日の委員会では、チビッコホームを整備するための補正予算や、教育センターを天神山町に設置する条例、福祉総合センターの建て替えに伴う条例改正などの議案を審査し、満場一致で可決しました。

また、次の項目について質問を行いました。

- 市民病院の外来用トイレ
- 中学生の自転車乗車時のヘルメット着用
- 「読書通帳」導入
- 学校給食での食物アレルギー対応

事業常任委員会

14日の委員会では、農業委員会の委員定数などを定める条例や、牛滝温泉やすらぎ荘において宿泊税を徴収するための条例改正などの議案を審査し、満場一致で可決しました。

その後、競輪場再整備にかかる民活手法導入可能性調査報告書と今後の施設整備の方向性について、報告を受けました。

また、次の項目について

質問を行いました。

- 路線バス
- 鳥インフルエンザの対応
- 競輪場の再整備
- 産業支援助成事業

総務常任委員会

15日の委員会では、組織機構を改編する条例改正や議員及び特別職の期末手当や職員の給与などを引き上げるための条例改正（議案第83号）などの議案を審査しました。このうち議案第83号については、議員の期末手当は現行のまま据え置き、特別職の期末手当や職員の給与などは原案のとおり引き上げるという修正案が提出され、賛成多数で可決しました。その他の議案については、満場一致で可決しました。

また、次の項目について質問を行いました。

- パスポートセンター設置
- 斎場の建て替え
- 私有財産（旧和泉銀行本店）の寄付
- 市政だよりの動画サイト掲載

○中核市移行の中止

政策討論会を開催します

- 第1分科会…岸和田市自治基本条例
- 第2分科会…地場産業の振興
- 第3分科会…災害時の議会対応と支援体制

開催日	開始時間	開催する分科会
2月13日 (月)	10:00	第1分科会
	13:00	第2分科会
	15:00	第3分科会
3月27日 (月)	10:00	第2分科会
	13:00	第3分科会
	15:00	第1分科会

これまで分科会を通して議論してきた内容を、全議員で共有するため、全体会議を開催します。日程は未定ですが、決まり次第ホームページでお知らせさせていただきます。

※傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

一般質問

厳しい見通し 競輪事業から撤退を

その他の質問 ○学校教育環境 ○岸和田市シティセールスとイノベーション推進 井舎 英生

【問】競輪場から再整備について報告があった。それによると、今後20年間事業を行ったとしても、全く利益を出せないため、再整備事業を中止することになった。

すなわち、競輪事業を継続させるための再整備は、市に貢献するどころか、逆に大きな赤字を発生させる結果となった。

さらに、建て替えではなく、現行施設を改修しながら事業を継続しても、わずかな利益しか出せないという報告もあった。

これらのことから、将来的に競輪場を廃止し、競輪事業からも撤退すべきと考

えるが、市長の考えを聞きたい。

【答】これまで再整備基本構想に基づき、民間活力の導入可能性調査を進めてきたが、長期にわたり十分な収益が確保できる試算結果とならないことが判明し、現状の計画による再整備を行わないこととした。

しかし、競輪事業の安定した継続と、施設や地域の安全・安心を確保しつつ、より開かれ活用される施設として整備していく方針に変わりはない。

今後は、改めて整備の具体的な方向性を取りまとめ、地域の理解を得ながら、着実に整備を進めていきたい。

一般質問

実効性ある条例で

きれいなまちに

友永 修

【問】きれいなまちづくり条例が施行され、3年以上経過しているが、JR東岸和田駅前、依然としてたばこのポイ捨てなどが多い。条例に罰則規定を設けた

り、喫煙禁止区域を設定するなど、早急な対策が必要と考えるがどうか。

【答】罰則規定や喫煙禁止区域を設けると、区域での取り締まりなどで相当の費用が必要となるが、一定の抑止力は期待できる。

実効性を確保するための方策や費用対効果、他に対象とすべき区域を検討するとともに、マナー向上のためのモデル区域の設定や条例の見直しも検討したい。

一般質問

規制緩和の実現が

誘致成功の力

鳥野 隆生

【問】丘陵地区の農整備について、企業などの農業への新規参入を進めるため、国家戦略特区を政府に提案しているとのことだが、現在の検討状況を聞きたい。

【答】国が開催する会議で府知事から要請を行うとともに、そのワーキング会議には市長が出席して、提案している株式会社農地取得条件の緩和や農地への全面コンクリート打設解禁、農地転用規制の緩和について説明を行った。現在は、農地への全面コンクリート打設解禁が検討されている。

今後、提案が実現するよう、府などの共同提案者とともに、国に働きかけて

いきたい。

【問】各地で相次ぐ事故を受け、政府は道路を管理する都道府県や教育委員会などに、通学路の安全確保の徹底について通知した。本市では、教育委員会、道路管理者、警察などで対策マニュアルを作成しているのか聞きたい。

【答】これまでも関係機関で通学路の合同点検を実施してきたなか、平成27年4月に通学路交通安全プログラムを策定した。

引き続き点検を実施するとともに、通学路の指定の見直しや、地域との連携による見守り活動の推進などに取り組みたい。

一般質問

変わる介護制度

懸念される質の低下

中井 良介

【問】要支援1、2で訪問介護や通所介護を受けている方は、平成29年4月から緩和型サービスが導入される総合事業の対象となる。これにより、ヘルパーに代わって無資格の従事者が訪問し、デイサービスでは機能訓練がなくなることで、介護の質の低下につながる

と考える。

緩和型サービスをやめ、本人やケアマネジャーの意見をもとに、現行相当の介護が受けられるようにすべきと考えるがどうか。

【答】認知機能の低下や身体などの障害により、日常生活に支障があり、身体介護が必要な場合は、現行相

当サービスを選択し、掃除や買い物などの生活支援が必要な場合は、緩和型サービスを選択することで、良質なサービスを受けられる。現行相当サービスか緩和型サービスか、本人にとってふさわしいサービスかをケアマネジャーと相談して決めてもらうことになる。

【問】簡単なチェックリストで総合事業サービスの要否を判定することになるが、希望すれば介護認定の申請も認めるべきだがどうか。

【答】本人の現在の状況、今後の状態変化の予測や必要なサービスの見込みなどを考慮し、選択してもらうことになる。